

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本競技会の申し合せ事項により実施する。

2. 練習会場および練習について

(1) 練習は以下の表の練習会場および時間に従って行うこと。

会場 / 日	5月17日(金)	5月18日(土)	5月19日(日)
本競技場	7:30~8:30 (投てき以外使用可)	7:30~9:00 (投てき以外使用可)	7:00~8:30 (投てき以外使用可)
補助競技場	9:00~20:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:30~18:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投	7:30~11:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投
雨天走路	7:30~20:00 (投てき以外使用可)	7:30~18:00 (投てき以外使用可)	7:00~11:00 (投てき以外使用可)

(2) 練習の際には安全面に注意し、競技役員の指示に従うこと。

(3) 投てき練習は、種目ごとに指定された場所で競技役員の指示に従って行うこと。

(4) スターティングブロック、ハードルを使った練習は補助競技場でのみ可能である。

(5) 各練習会場では安全のため逆走、チューブ・牽引ロープ等の用具を使った練習は禁止とする。

(6) 各練習会場のレーンの使用については、次のとおりとする。

	1・2レーン	3~6レーン	8・9レーン
本競技場	中・長距離	短距離	ハードル競技
補助競技場	中・長距離	短距離	ハードル競技

なお、雨天走路では晴天時のハードル練習は禁止する（雨天時については別途指示をする。）。

3. 競技者の招集方法について

(1) 招集所は、本競技場第1ゲート外側に設ける。

(2) 各競技の招集開始および招集完了時刻は、その競技の開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

種目	予選		準決勝		決勝(タイムレースを含む。)	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了
トラック	30分前	20分前	25分前	15分前	25分前	15分前
フィールド					60分前	50分前
フィールド(棒高跳)					70分前	60分前
混成競技					30分前	20分前

(注)混成競技については、第1日および第2日の最初の競技種目について上記時刻で招集を行う。

以降は、混成競技者控室で競技役員の指示に従うこと。

(3) 招集の方法については、以下のとおりである。

- ① 招集完了時刻5分前には招集所で待機し、出場者本人が最終チェックを受ける。その際、ナンバーカード、スパイク、衣類、持ち物等の点検を受ける。その後、競技役員の指示に従い競技場内へ入ること。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ③ 2種目以上同時刻に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに「重複出場届」を招集場に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所へ移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前に、当該競技役員にその旨を申し出ること（競技規則第143条3）。
- ④ リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに所定の用紙に記入し、招集所に提出すること。
- ⑤ 携帯電話、CD等、競技規則第144条3(b)に関わる機器は、競技場内に持ち込めない。

(注) 提出の必要な用紙については、受付および招集所に準備する。

(7) 競技者の入退場は競技役員の指示に従うこと。

(8) 学連登録時の氏名と登録番号がプログラム上のそれと異なり、主催者側に過失が認められない場合は、競技に出場できないことがある。

4. 棄権について

- (1) 棄権については、大会の権威と運営の円滑化のため極力避けること。大会申込後に、やむを得ず棄権する場合は、「棄権届」2枚（大会受付および招集所に準備。）に監督もしくはコーチがサインの上、招集開始時刻前までに招集場に提出すること。
- (2) 無断で棄権した場合、その競技者は以降の出場を認めない。

5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは本年度登録番号のものを使用し、胸および背中に確実につけること。ただし、跳躍競技に関しては、胸または背中のいずれか1枚つけるだけでも良い。
- (2) トラック競技の出場者は、招集受付時に写真判定用腰ナンバーカードを受け取り、所定の位置（右腰後方付近）に取り付ける。競技終了後は、フィニッシュ付近の競技役員に返却すること。

6. 競技の抽選および番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順および跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技において、プラス進出を決める場合、その最下位で同成績が出たときは、下記の方法で決定する。
 - ① 800m以下およびリレー競技での同成績者については、レーンに余裕がある限り次のラウンドに進むことができる。レーンが不足する場合は、判定写真を0.001秒の実時間で判定し決定する。それでも決定できない場合は、該当競技者または代理人によって抽選をする。
 - ② 1500m以上の競技の同成績者は、次のラウンドに進むことができる。

7. 競技について

- (1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技出場者は腰ナンバーカードを使用する。腰ナンバーカードは招集の際受け取ること。
- (3) スターターの合図は英語とする（「On your marks」, 「Set」）。
- (4) 競技規則第 167 条 7 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。
- (5) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (6) トラック種目の準決勝・決勝については、主催者がルールに則り組み合わせ、レーン順を決定する。フィールド競技（走高跳および棒高跳は除く。）の決勝については、3 回の試技で上位 8 人を選出し、記録した成績の低い順に、後 3 回の試技をする。
- (7) 予選において棄権者が多く 8 名以下になった場合、予選を取りやめ決勝の時刻に決勝レースを行う。
- (8) 男子 5000m, 男子 10000m および男子 3000mSC はタイムレースで行う。
- (9) 競技運営上、男子 5000m は 20 分、男子 10000m は 40 分、男女 10000mW は 70 分で打ち切ることがある。
- (10) 男女 10000m, 男女 10000mW では、バックストレート側に給水所を設ける。
- (11) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも 2 名はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場したメンバーのうち 2 名以内に限り、その後のラウンドで他の競技者と交代することができる。
- (12) リレー競技に出場する場合、各チーム同一のユニフォームで参加しなければならない。
- (13) スパイクのピンは 9mm 以下、やり投・走高跳については 12mm 以下のものを使用すること。
- (14) フィールド競技は、主催者が準備したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に 2 箇所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを 1 箇所だけ置くことができる。
- (15) 男子走高跳のピットは、Aピット：第 4 コーナー側、Bピット：第 3 コーナー側とする。
- (16) 男子走幅跳および男子三段跳のピットは、Aピット：スタンド側、Bピット：トラック側とする。
- (17) 男子三段跳の踏切板は砂場から 12m の位置に設置する。
- (18) 女子三段跳の踏切板は砂場から 9m の位置に設置する。
- (19) 練習用としても検定を受けていない個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- (20) 男子円盤投および男子やり投については競技運営上、計測ラインを設ける（円盤投 30m, やり投 50m）。また、男子走幅跳で計測ラインを設けることがある。

8. 走高跳および棒高跳について

- (1) 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は、以下の表のとおりとする。

男子走高跳	練習 1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	以降 1 人残るまで 3cm 刻み
女子走高跳	練習 1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以降 1 人残るまで 3cm 刻み
男子棒高跳	練習 2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	以降 1 人残るまで 10cm 刻み
混成競技	走高跳、棒高跳とも現地にて決定する。						
女子棒高跳	現地にて決定する。						

(注) 天候等の事情により、審判長の判断で変更する場合がある。

- (2) 棒高跳の支柱移動については、競技開始前に跳躍場で競技役員に申し出ること。
- (3) 第1位が同成績の場合の順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2 cm、棒高跳で5 cmとする。

9. 抗議・上訴について

抗議は競技規則第146条に基づき、結果の発表後30分以内（同一日に次のラウンドが行われる場合は15分以内）に、競技者本人または監督から総務員を通じて審判長に対し口頭で申し入れる。さらに、この裁定に納得できない場合は、預託金を添え、担当総務員を通じて文書で申し出ること。

10. 表彰・成績について

- (1) 各種目第3位までに入賞した者に対し、表彰式で賞状とメダルを授与する。競技終了後、直ちに正面玄関ロビーに集合すること。受賞者は、原則各校の競技用ユニフォームを着用とすること。また、第8位までの入賞者には賞状を授与する。賞状は、正面玄関ロビーの表彰者待機場所付近に準備する。
- (2) 各種目得点は、1位8点、2位7点、以下6点、5点、4点、3点、2点、1点とする。同順位が複数(n)生じた場合は、順位点の合計をnで除した得点とする。
- (3) 学校対抗得点で男女とも総合第1位の学校に優勝杯を、第2位・第3位の学校には賞状を授与する。また、トラックおよびフィールド部門で男女とも得点第3位までの学校には賞状を授与する。
- (4) 男子最優秀選手またはリレーチームに菅沼賞を、女子最優秀選手またはリレーチームに川村賞を授与する。

11. その他

- (1) 主催者は競技者の負傷・疾病については応急措置以外の責は負わない。それ以上の対応については各校で行い、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) メインスタンドでの集団応援、部旗・横断幕の掲示は禁止する。ガムテープを使っての掲示やロープ類を使っての場所取りも禁止とする。メインスタンドおよびスタンド裏においては通行の妨げにならないよう場所取りには配慮をすること。
- (3) 競技場内で着用あるいは持ち込む衣類・バックなどは「競技会における広告および展示物に関する規程」に従い、ロゴ等は所定の大きさまでのものしか認められない。
- (4) 競技場内および補助競技場等公園内の美化には注意し、ゴミは各校で持ち帰ること。
- (5) 更衣室はメインスタンド下にある。荷物・貴重品等は各自の責任で管理し、盗難には注意すること。また、放置などによる盗難・紛失などがあった場合、主催者側は関与できないので注意すること。
- (6) 番組編成・競技結果については、競技場正面玄関外付近の記録掲示板に掲示する。また、岡山陸上競技協会ホームページへも随時掲載する。
- (7) 記録証明証を希望する競技者は、正面玄関ロビー付近に設置する大会受付（記録証明証発行所）で、用紙に必要事項を記入し一通300円を添えて申し込むこと。
- (8) 競技場開場および閉場時刻
 - 第1日 5月17日(金) 開場：7:30 閉場：20:00
 - 第2日 5月18日(土) 開場：7:30 閉場：18:00
 - 第3日 5月19日(日) 開場：7:00 閉場：閉会式でアナウンスする。